



テュートリアル課題 まだ妊娠9カ月なのに・・・

著者名	東京女子医科大学
雑誌名	テュートリアル課題
巻	2015
号	S7
発行年	2015-03-30
URL	http://doi.org/10.20780/00032582

2015年度 Segment. 7

課 題 No.3

課題名：まだ妊娠 9 カ月なのに…

課題作成者：産婦人科学
母子総合医療センター

小川正樹
戸津五月



無断で複写・複製・転載すると著作権侵害となることがありますのでご注意ください。

シート1

会社員の佐藤文子さん（32歳）は、1回の自然流産歴があります。今回2回目の妊娠で、妊娠初期に少量の性器出血を自覚し、切迫流産と言われ、できるだけ安静にするように努めておりました。幸い妊娠32週までの妊婦健康診査では順調に経過しております。しかし、ここ1週間ほどは時々下腹部の絞り上げるような痛みを自覚しておりました。妊娠33週1日には周期的にこの痛みを感じるようになり、急いで病院を受診しました。

シート2

安静のため入院となりました。子宮収縮抑制薬を点滴で開始しましたが、下腹部の痛みはあまり軽快しませんでした。早産する可能性があったことから、母体に副腎皮質ステロイドが注射されました。入院翌日には、帯下は悪臭を認めるようになり、発熱も認められました。

シート3

内診したところ、子宮口は5cm程度開大し、先進する児頭とともに胎胞を触れました。分娩開始と判断されたことから、子宮収縮抑制薬を中止し、分娩としました。出産児は1980gの女児でした。

シート4

佐藤文子さんは自然分娩で赤ちゃんを分娩しました。

在胎期間は33週2日、出生体重 1980gの女の子でした。体重は在胎週数相当でした。

分娩には新生児科の先生も立ち会い、出生後すぐに蘇生を開始しました。

生後1分では、呼吸は不規則で啼泣はみられませんでした。心拍数は120回/分、手足は少し曲げていました。

口腔内を吸引して顔をしかめました。全身チアノーゼでした。

生後5分では、呼吸は不規則で、啼泣は時々みられました。心拍数は160回/分、手足は少し曲げていました。

口腔内の吸引では咳込みました。体幹はピンク色で、手足のチアノーゼがみられました。

搬送用保育器内に酸素を投与しながら、NICUに搬送しました。

シート5

赤ちゃんはNICUに入院しました。

呼吸回数 72回/分、心拍数 170回/分、room airでSpO₂ 89%でした。保育器内に酸素を投与し、ブドウ糖の点滴を開始しました。

生後1時間で、赤ちゃんはブーブーと唸っており、呼吸のたびに肋間がペコペコへこんでいます。

赤ちゃんはいくつかの検査を受けました。

シート6

生後2時間で、赤ちゃんは治療をうけ、陥没呼吸は消失しました。

次の日、文子さんはNICUに面会に行きました。

赤ちゃんは、人工呼吸や点滴をしています。また、保育器の上から青い電気があたっています。文子さんは看護師に促され、母乳をしぼって持ってきました。

シート7

この子はいつになったら退院できるのかしら……。幼稚園にいったり、普通の学校にいけるのかしら……。と、文子さんは心配になってきました。